

# 再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道186号 御園バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	広島県
起終点	自：広島県大竹市安条 至：広島県大竹市油見	延長	4.0 km		
事業概要	<p>一般国道186号は、島根県江津市を起点として、広島県山県郡安芸太田町を経て広島県大竹市に至る延長約149kmの幹線道路である。</p> <p>御園バイパスは、狭隘・線形不良区間の解消を目的とした、延長4.0kmの2車線道路である。</p>				
S63年度事業化	H4年度都市計画決定	S63年度用地着手	H6年度工事着手		
全体事業費	100億円	事業進捗率	82%	供用済延長	2.2 km
計画交通量	5,100台/日				
費用対効果分析結果	<p>B/C (事業全体) 2.9</p> <p>(残事業) 2.9</p>	<p>総費用 (残事業)/ (事業全体) 18/130億円</p> <p>事業費：15/125億円</p> <p>維持管理費：4/4億円</p>	<p>総便益 (残事業)/ (事業全体) 53/371億円</p> <p>走行時間短縮便益：51/330億円</p> <p>走行費用減少便益：3/35億円</p> <p>交通事故減少便益：0/6億円</p>	<p>基準年 平成17年</p>	
感度分析の結果	<p>残事業（事業全体）について感度分析を実施</p> <p>交通量変動：B/C=3.1（交通量+10%） B/C=2.6（交通量-10%）</p> <p>事業費変動：B/C=2.8（事業費+10%） B/C=2.9（事業費-10%）</p>				
事業の効果等	<p>現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する（大竹市営バス）</p> <p>現道等における大型車すれ違い困難区間を解消する（防鹿工区、安条工区） 他6項目に該当</p>				
関係する地方公共団体等の意見	<p>一般国道186号は、山陽・西中国山地・山陰を結ぶ広域幹線道路であり、沿線市町村の産業経済及び文化発展に大きく寄与する重要な路線である。しかしながら、未改良部分において諸種の交通障害が発生している状況であり、大竹市をはじめとする2市3町の首長で構成される国道186号整備促進協議会より早期整備の要望（平成17年7月25日）を受けている。</p>				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>地方港湾大竹港が整備中であることや、緊急輸送道路に指定されていることから本路線の重要性は高まっている。</p>				
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>総延長4.0kmの内2.2kmについて供用中である。残り区間も順次供用できるよう工事進捗を図る。</p>				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>用地買収は約98%取得済みであり、既に用地買収が完了した防鹿工区は早期に工事着手し、事業進捗を図る。</p>				
施設の構造や工法の変更等	<p>供用済みトンネルの発生残土を他事業へ流用し、コスト縮減に努めた。残るトンネル等の発生残土も他事業への有効活用を検討する。</p>				
対応方針					
対応方針決定の理由	<p>以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</p>				
事業概要図	<p>The map shows the project route from Oda (大竹市油見) to Anai (大竹市安条). Key features include:         <ul style="list-style-type: none"> <li>Tunnels: 油見トンネル (L=1,125m), 防鹿トンネル (L=369m), 穂原トンネル (L=322m), 安条トンネル (L=342m).</li> <li>Construction zones: 防鹿工区 (L=0.8km), 穂原工区 (L=1.0km).</li> <li>Other zones: 供用済 (L=1.5km/2/2), 供用済 (L=0.7km/2/2).</li> <li>Geographical markers: 大竹市木野, 大竹市木野, 一般河川 小瀬川, 山陽自動車道, 山陽新幹線, 岩国市, 至江津市.</li> </ul> </p>				

	供用中
	事業中

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。